

令和3年2月15日

#### 新型コロナウイルス感染者の発生について（第4報）

令和3年2月5日（金）当法人施設の南勢カトリック特別養護老人ホームにおいて、新型コロナウイルス陽性者1名が確認されたことにより、ご関係者をはじめ多くの皆様に、多大なるご心配、ご迷惑をお掛けし大変申し訳ございません。

その後の状況について、以下のとおりご報告申し上げます。

2月5日以降、緊急搬送先医療機関にご入院中の前述の入居者様は、当該病院のご尽力により食事摂取できるまでに軽快されたことを、ご家族様より伺いました。ご退院に向けて日々ご回復されているご様子に、施設としても力をいただきました。

2月6日のPCR検査で陰性が確認され、保健所のご指導により健康観察のため自宅待機中の職員は、本日まで全員健康状態に変化が生じていないことを確認しています。

2月19日の待機期間満了後、元気な姿で職場に戻って来てくれることを心待ちにしています。

2月12日（金）～14日（日）37.5℃～38.0℃の発熱が続き、当施設担当医に診察を受けています入居者様に対し、保健所の指導のもと個別に介護対応を続けています。

担当医師の指示により、2月13日（土）PCR検査を実施していただきました。

本日2月15日（月）午後、陰性が確認されました。

引き続きご健康状態を見守りながら、個別に介護等を受けさせていただきます。

他の入居者様および従業員につきましては、現時点において新たに感染者が発生することなく小康状態にありますが、引き続き感染対策を徹底し、慎重に施設運営を進めて参りたいとおもいます。

高齢者が多数生活される当施設が、この様な不安定な状態にあることに不安、不信を感じておられる方々もあるとは存じますが、現状から早期に脱することが出来ますよう努めて参りますのでなにとぞご理解を賜りますよう、お願い申し上げます。

社会福祉法人聖ヨゼフ会松阪  
理事長 古林 睦敏